資料３－１１

葛尾村の復興に関する現状と課題

エコ・コンパクトビレッジ

～自然と共生し、一人ひとりの笑顔がみえる、
持続可能なふるさと「かつらお」～

福島県双葉郡葛尾村

◆葛尾村のすがた

葛尾村の　木：赤松／花：つつじ／鳥：きじ

阿武隈山系のほぼ中央部に位置し、
総面積の約8割を森林が占める
緑豊かな高原の村

【2011.3.11時点】
○世帯数：477世帯
○人口：1,567人
○面積：84.37㎡
○標高（中心地）：450m

◆復興の状況と課題

Ⅰ　避難指示解除及び帰還・避難の状況

（平成30年5月1日現在）

項目	世帯数	人口	備考
1．人口・世帯数	472	1,430	※うち村内居住者　140世帯291人
（1）帰還困難区域	34	111	野行行政区
（2）避難解除区域	410	1,252	H28.6.12解除 （避難指示解除準備区域、居住制限区域）
（3）解除後の転入	28	67	
2．帰村者数	110	239	帰村率16.9%（人口ベース）
3．避難者数	－	1,124	
（1）県内	19市町村	1,044	うち仮設住宅87人、借上げ住宅112人
（2）県外・海外		80	県外79人（14都府県）、海外1人

◆復興の状況と課題

葛尾村イメージキャラクター
「しみちゃん」

Ⅱ　復興の現状と課題

1．帰村の現状と見通し

○　平成28年6月の避難指示解除（帰還困難区域を除く。）から1年11カ月が経過するものの、村民の帰還は2割未満にとどまっている（H30.5.1時点の帰村率：19.1%）。

【主な要因】・放射線量に対する不安があるため。
・高齢者、要介護者の医療・福祉環境に不安があるため。
・避難先での生活定着化が進んでいるため。

○　村内での買い物、医療等の生活環境整備は進んでおり、今後は徐々に村民の帰還の動きが進むものと見込まれる。

【参考】「葛尾住民意向調査（H29.10月実施）」による帰還の意向

・現在、葛尾村に戻っている：17.2%
・戻りたいと考えている（将来的希望も含む）：26.5%
} 43.7%

◆復興の状況と課題

Ⅱ　復興の現状と課題

2. 主な施設整備の状況（H28～30年度）

○ 拠点施設：復興交流館、農業用倉庫、防災備蓄倉庫（H29年度整備済）

○ 産業雇用：胡蝶蘭栽培施設（H29.12整備済）、産業団地造成（H30～31年度予定）

○ 復興住宅：三春町内（恵下越団地106戸）、葛尾村内（共同住宅11世帯）（H28年度整備済）　※葛尾村内（地域活性化住宅8世帯）（H29年度整備済）

○ 文教施設：小・中学校校舎、体育館、プール、給食センター等（H29年度整備済）

○ そ の 他：浪江消防署葛尾出張所（H29年度整備済）、郷土文化保存伝習館、葛尾大尽屋敷跡（H29年度改修）

◆復興の状況と課題

Ⅱ　復興の現状と課題

３．生活環境整備の状況

(1) 買い物環境

○　主要3商店について、①マルイチ商店（日用雑貨等販売）（H29.4月）、②石井食堂・商店（食堂、生鮮食品等販売）、③ヤマサ（ｺﾝﾋﾞﾆ）（H29.7月）は、村内で営業再開済。

○　村では、帰還した住民向けの補完的サービスとして、隣接する田村市の複合商業施設等への「無料デマンドタクシー」を運行。（H30年3月をもって終了）

(2) 医療・介護・福祉

○　社会福祉協議会は村内で業務を再開しており、帰村した高齢者等の「見守り訪問」や「デイサービス事業」を実施している。

○　村内の診療所の再開状況

区　　分	科　目	診　　療　　日	診　療　医　師
葛尾村診療所 （H29.11月再開）	内科・ 小児科	週１～２日（毎週木曜、第２・第４水曜）（午後のみ）	（一社）田村医師会所属の医師等
歯科診療所 （H28.7月再開）	歯科	週３日（火・水・木曜）	震災前の歯科医師が継続診療

○　また、村では、医療確保のための補完的対応として、田村市都路診療所に「無料デマンドタクシー」を運行している。

◆復興の状況と課題

Ⅱ　復興の現状と課題

4. 生業（農業・畜産・企業誘致等）

(1) 水稲栽培　＜震災前　農家数270戸、作付面積130ha＞

H28年度（実証栽培）：農家数11戸、作付面積約６ha
H29年度（通常再開）：農家数14戸、作付面積約９ha
H30年度（通常再開）：農家数15戸、作付面積約14haの予定

【主な要因】・長期避難に伴い、営農再開意欲が低下している。
・後継者の帰村が進まず、担い手が不足している。
・村内の優良農地が除染土壌等の仮置き場となっている。

※米の全量全袋検査（H29年10月～、計1,314点）の結果、放射性物質は全て測定下限値未満となっている。

(2) 特産品

「(有)ふるさとのおふくろフーズ」が、
H29年2月から地域の伝統食である「凍み餅」の
製造・販売を再開（H30の出荷量は、震災前の4割程度。）。

「じゅうねん企業組合」がH30年４月からじゅうねん
団子「葛尾のお大尽様」と「エゴマ油」の製造・販売を開始

◆復興の状況と課題

Ⅱ　復興の現状と課題

4. 生業（農業・畜産・企業誘致等）

（3）畜産　＜震災前：繁殖農家95戸（314頭）、肥育農家9戸（3,300頭）、酪農2戸（170頭）＞

全村避難に伴い村外に預託していた肉用牛の一部がH29年3月から村内での飼養を再開している。

※H30年4月時点の再開状況：繁殖農家9戸（約80頭）

（4）企業誘致

県外の繊維製造業（金泉ニット株式会社（本社；愛知県））が、村内に新工場を設置することとなり、H28年12月に村との基本協定を締結、H30年6月操業開始予定。

◆復興の状況と課題

Ⅱ　復興の現状と課題

５. 教育（幼稚園、小・中学校の村内再開）

平成30年4月６日、葛尾幼稚園、葛尾小学校、葛尾中学校の合同再開式が開催され、村内に幼稚園、小学校、中学校が開園、開学された。

なお、再開後の園児、児童、生徒は以下の通り。

幼稚園　　4名
小学校　　7名
中学校　11名

◆復興の状況と課題

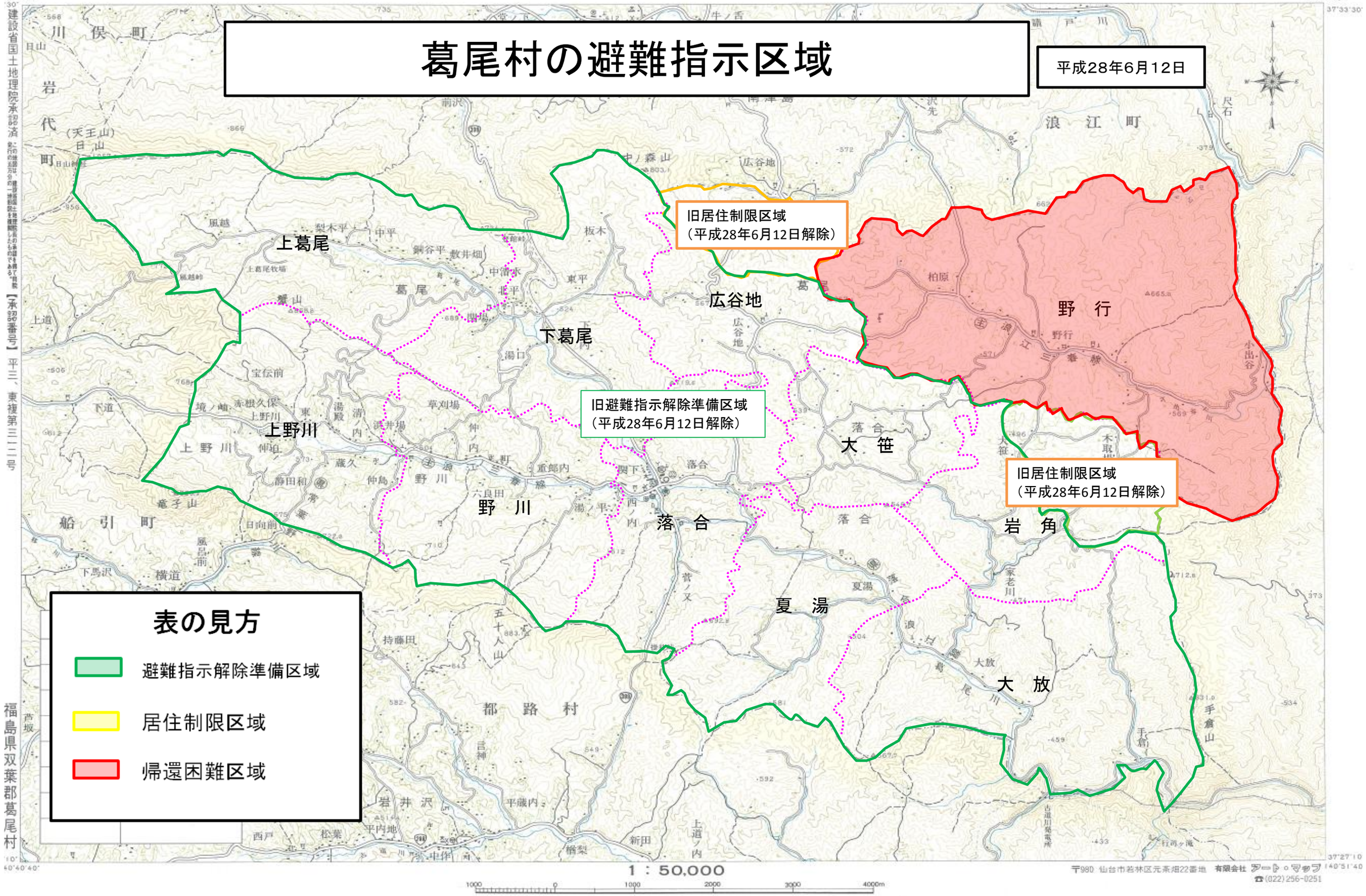
Ⅱ　復興の現状と課題

６. 帰還困難区域の復興（特定復興拠点）

　村の東端に位置し、浪江町津島地区と接する「野行行政区」が帰還困難区域となっている（住民登録数は34世帯・111人で、村全体の約8％）。

　村では、国・県等の関係機関との協議を進め、平成30年5月11日に、特定復興再生拠点区域復興再生計画の認定を受けた。

　今後は、計画をしっかりと形にしていくため、具体的な活用方法を地元住民と話し合い、関係機関と協議しながら進めていく。

葛尾村の避難指示区域

平成28年6月12日